

[目 次]

2002・5

ページ

SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	宇宙に「天体」はいくつあるか？	長 島 雅 裕	211
特集			
「新天体発見事情」	現代新天体発見事情	山 縣 朋 彦	219
	新天体の発見と天体発見賞・発見功労賞	山 岡 均	222
	新天体発見業務の紹介	中 野 主 一	225
	未知の星を求めて	櫻 井 幸 夫	230
	新天体の五目釣り	高見澤今朝雄	234
ASTRO NEWS	池谷・張彗星は1661年の彗星の再来	渡 部 潤 一	236
書評	理科年表ジュニア	渡 部 義 弥	237
シリーズ	《海外研究室事情(29)》 Laboratory for Atmospheric and Space Physics University of Colorado コロラド大学大気宇宙物理学研究所	大 槻 圭 史	238
雑報	フーコー：振り子を回転させた男， シュザンヌ・デバルバ (パリ天文台)	中 村 士	240
	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書	浅 井 歩	242
寄贈図書リスト			243
月報だより			243

[表 紙 説 明]

太陽に近づき、尾をのばし始めた池谷・張彗星 (C/2002 C1) の姿。頭部はC₂およびCNなどの中性分子によるコマで、一酸化炭素イオンが発する青白い尾が反太陽方向にまっすぐ伸びている。塵はまだそれほど放出されていない、いわゆるオタマジャクシ型をしているが、この後、近日点に近づくにつれ、塵の放出が始まり、紡錘状になってきている。東京大学天文学教育研究センター木曾観測所の105 cmシュミット望遠鏡にて、国立天文台の研究チームにより2月13日に撮影されたもの。

(ASTRO NEWS 参照)